

Safety Promotion School 7つの指標

大阪市立新高小学校

指標 2 : 学校において、「生活安全」「災害安全」「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「安全教育」「安全管理」「安全連携」の領域についての「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。

新高小学校 3か年計画 指針

- ① 児童が主体的に「安全・安心」について理解し、主体的に判断・行動ができるようにする。
- ② 教職員が主体的に「安全・安心」について理解し、主体的に判断・行動できるようにする。
- ③ 地域・PTA等学校関係者と連携した組織を構築する。
- ④ 消防・警察等関係諸機関との連携を強固にする。

分野	中期目標・中期計画
生活安全 ① 防犯 ② いじめ ③ 不登校/虐待 ④ 特別支援教育 ⑤ 生活習慣 ⑥ 事故対策	① 危険リスクのある運動会の運営方法を見直し、保護者・地域の理解を得た運営方法を確立する。不審者侵入時に、教職員・児童が主体的に判断・行動できるようにする。 ② いじめの根絶に向け、教職員の強い意識醸成と指導の徹底を図る。 ③ 不登校・虐待等に対し、教職員が一定のフローに基づいて行動できるようにする。 ④ インクルーシブ教育を推進し、要配慮児童が通常学級で安心して生活できる体制を構築する。 ⑤ 健康で生活ができるよう、生活習慣の改善を図っていく。 ⑥ 校内の危険リスクを定期的に把握するフローを構築するとともに、適切に改善アプローチを行う。
災害安全 ① 防災減災学習 ② 避難訓練	① 防災マニュアルを、常に最新の組織に基づいたものに整備する。また、防災教育を体系的に推進していく。 ② 災害時に児童が主体的に考え方行動できるようにする。地域・消防署等関係諸機関との連携を強化し、保護者との連絡体制も構築する。
交通安全 ① 交通安全（被害・加害予防） ② 地域連携	① 歩行者・運転者双方の視点を踏まえた危機回避能力を育成する。 ② PTA・地域との連携を図り、「通学路の危険個所の把握・改善」「危険情報の共有化」「登下校マナーの改善」を図る仕組みを作り、運用する。